

市長賞

ヤマボウシこんなに清楚な白だったのか介護のひととき心和みぬ

金原 令次

【評】

「全身の辛苦を堪へて介護する病妻は知らずや「令和」となるも」という歌も詠む作者。病む妻のために、懸命に介護にいそしむ作者の、ほっと一息ついたようなこの歌に心惹かれました。「ヤマボウシ」は日々尽力する作者への天からの御褒美だったのかもしれない。ヤマボウシという固有名詞が効いた一首。清らかなお心の作者だからこそ、ヤマボウシの清楚な白に気がつくことができるのだと思います。